

令和5年度 島根県立隠岐養護学校 学校評価

令和5年度 重点テーマ	具体的内容	【評価基準】
エンパワーメント 「個性を活かし、地域とつながる」 ～児童・生徒にとっての共生社会づくり推進～	①児童生徒の個性（強み・好きなこと、得意、才能）を活かす ②生きる力（思考力、判断力、表現力）を伸ばす ③地域との連携強化	1 十分に達成できている 2 おおむね達成できている 3 どちらかといえば達成できていない 4 ほとんど達成できていない 5 わからない
※共生社会づくりに向けた2つの視点	④交流学習の充実	【4段階評価基準】 A 十分に達成できている B おおむね達成できている C どちらかといえば達成できていない状況 D ほとんど達成できていない状況
①児童生徒の共生力の育成	⑤社会体験活動、現場実習の充実	
②地域（社会）の変化への働きかけ	⑥アドバイザーとしての役割・地域への支援 ⑦広く届く広報活動	
③安心安全な学校づくり ④働きやすい学校づくり	⑧新たなトライ	

学年 分掌等	具体的 内容	重点目標	手立て	評価指標 (成果・取組指標)	評 価 者	アンケート評価					目標や評価に関する 意見・要望	4段階 評価	学校関係者評価		
						高⇄低、わからない							4段階 評価	評価・改善案等	
						1	2	3	4	5					4段階 評価
小 学 部	①②③④	児童生徒の個性を活かし、地域とのつながりを意識した学習の充実を図る。	○学習を計画的に行えるよう各学級・学習グループで学期ごとに計画を立てる。その計画や取組の様子を学部会で共有する。 ○児童生徒の好きなことや得意なことを取り入れた活動を計画する。	○地域とのつながりを意識した学習を毎学期1回以上計画し、実施できたか。 ○児童生徒の好きなことや得意なことを取り入れた取組ができたか。	小 学 部 教 員	40%	60%				・地域とのつながりは、時間をかける中で深まっていくので、今年度の取組を次年度へつなげていきたい。 ・地域とのつながりを意識した取組を計画的に行うことができた。 ・好きなことが増えるようにいろいろな体験ができるようにしたい。 ・交流や地域の方を名人として来ていただく活動にしっかり取り組んでいた。	B	・名人との学習（Tシャツ作り体験、木工体験、太鼓学習など）、海洋ゴミや武良まつりの調べ学習、図書館や水産高校への校外学習、交流学習など、地域とのつながりを意識した学習に毎学期計画的に取り組めた。子ども達の好きなことも取り入れることを意識しながら取り組んだ。地域とつながっているいろいろな体験をすることで、興味を広げたり関わりを広げたりすることができた。今年度のつながりを大切に、子ども達の実態や成長に応じた取組を積み重ねていきたい。・今後も連絡帳や懇談などを通して、保護者より連携を図れるよう心がけていきたい。	A	・地域とのつながりはできていると思います。これを継続することがさらに大切だと思います。 ・隠岐養護学校を必ず応援してくれるコアファン、コア企業、コア団体などをベースに置きながらも、あらたなファンづくりにチャレンジしてみてもよろしいのではないのでしょうか。 ・子どもたちの感性や興味も広がることと思われます。ぜひ、私たちが協力したいです。 ・地域とのつながりを作る中で、小学部については、子ども同士のつながりを作る活動があればいいですね。
高 等 部	②③④	生徒が意欲的に取り組み、地域の方々に喜んでいただけるOkirakuCafeの取組を推進する。	○お客様の声を活かした作業学習の取組を工夫し、生徒が意欲的に取り組めるようにする。 ○地域との連携強化を進める学部の取組として、月に2回程度の開店を目標に計画的な作業学習の展開を工夫する。	○お客様の声の収集、活用について検討し、取り組むことができたか。 ○月に2回程度開店することができたか。	高 等 部 教 員	72%	28%				・来年度は生徒数の減少や製菓の経験もないため、今年度同様月2回の開店が適当だと思います。 ・地域の方にも支えられ、初年度としては十分目的が達成できた。	A	・多くの人の支えがあってカフェを計画通り開店し、たくさんの地域の方に来店していただくことができた。生徒は意欲的に取り組み、接客の力が向上した。また、お客様の声を作業製品づくりに生かすこともできた。来年度も月2回程度の開店を目標に取り組んでいきたい。 ・生徒が相談できる関係づくりに学部全体で取り組んでいきたい。 ・行事への取り組み方や学習内容の精選、学習計画について見直しながら取り組んでいきたい。	A	・カフェの開店は学校にとっても地域にとってもとても大きなチャレンジだったと思います。十分に評価できます。カフェは2年目以降が本番になると思います。卒業生の穴は大きいですが、さらなる発展を期待しています。 ・カフェのように校内にお客様を招き入れる取り組みは、スゴイ！ 来年度は、広くお客様へアピールできたら嬉しいです。 ・カフェの運営、商品開発と社会人の方も負けてられないくらいの活躍ぶりでした。人と接することの楽しさ、段取り力、様々なスキルが身についたかと思います。月2回のカフェも定着してきて、今後が楽しみです。
総 務	⑦	関係機関と連携して本校の取り組みについて情報発信し、地域への理解啓発に努める。	○本校の取り組みについて、ホームページ、学校新聞、校外掲示を作成し、情報発信を行う。	○ホームページ（随時）や学校新聞（年間4回）、校外掲示（2ヶ月に1回）を通して、児童生徒の活動の様子や学校行事等、各学部や分掌と連携して定期的に情報発信することができたか。	全 員	32%	68%				・校外掲示を入れかえた時などに全校にお知らせがあるとうよいと思います。 ・校外掲示では行事だけでなく普通の生徒の様子を多く取り入れてできた。 ・ホームページの更新は総務？生徒指導部？生徒指導部の方で声かけをしておられた気がします。	B	学校掲示については、今後、更新時に周知できるようにする。ホームページの更新についてはある程度の更新計画を立て、役割について整理していく必要がある。今後も地域の方が、より学校に興味・関心をもち、教育活動への理解や協力を得られるように情報発信していきたい。	B	・情報発信は十分に評価できると思います。情報発信の場も多様化してきた時代にプライバシーを確保しながらの表現は年々難しくなりますが、必要な情報を定期的に発信することで隠岐養護ファンを増やすことにもつながるかもしれません。 ・ホームページは主に学校向けに作られているかと思いますが、SNS（FBやインスタグラム）を見ている方が多いので、更新された際に連動して発信されるとリーチ数が伸びると思います。
教 務	②⑤	校務支援システムの円滑な運用を図る。	○校務支援システムを使って、個に応じた目標や指導内容の設定および適切な評価が円滑にできるように、手引き等の作成・改善や情報提供を行う。	○校務支援システムに関する手引き等の補助資料を作成したり、迅速に情報提供したりすることができたか。	全 員	42%	56%	2%			・朝礼等でアナウンスがあったり、資料の配布があったりして分かりやすかった。 ・困ったところなどすぐに対応してもらい助かりました。 ・システム上の不具合に対しては迅速に説明、対応できていた。	B	校務支援システムを使った指導計画の作成の初年度であり、システムの内容や操作方法の理解を促すことに終始した。今後は、システムのメリットを生かせるように、より効率的な作成方法や活用方法を探り、情報提供していきたい。	B	

学部分類等	具体的な内容	重点目標	手立て	評価指標 (成果・取組指標)	評価者	アンケート評価 高・低、わからない					目標や評価に関する 意見・要望	4段階 評価	評価・改善策等	4段階 評価	評価・改善策等
						1	2	3	4	5					
研修相談	②	一人一研究に取り組み、教育実践の深化を図る。	○教員間での意見交換、授業を見合う機会を設け、一人一研究の取り組みを支える環境作りをする。	○研究の日(月1回)、よらあや授業公開(年間各自1回)、よらあや報告会(中間、年度末)に取り組むことができたか。	全員	49%	45%	6%			・授業力を上げるために、授業研がもっと身近なものになるとよいと思います。 ・研究の日の前にはチャット等で連絡があり、分かりやすかった。	B	・一人一人がテーマをもって教育実践に取り組むことができたことには有意義であった。 ・来年度はさらに学び続ける教員をめざして一人一人の研究、研修を深めるための方策を検討する必要があります。	B	・日々お忙しい中、研修会や報告会をされていて上昇志向が窺えます。
		⑥	地域における特別支援教育のセンターの役割の充実に努める。	○関係機関と連携を取りながら、各町村、各保育所・各学校のニーズに応じた研修会の開催、相談活動に取り組む。	○管内の保・小・中・高の巡回相談等を年2回以上、特別支援教育研修会の開催を年2回行うことができたか。	全員	75%	25%			・管内を回られるなどのようなニーズが高いのかなど、特別支援教育の現状について教えていただく機会があるとうれしく思います。	B	・早期からの支援の充実につながる相談活動を実施することができた。 ・来年度はさらに、校内の先生方に対し、管内の特別支援教育に係る課題について周知する機会を設けたい。	B	・年々特別支援については増加傾向ですので、研修会は大事だと思えます。 ・障がい児の早期発見や早期支援は、本人にとっても家族にとっても、とても重要であると思う。相談できる窓口があれば、保護者は、安心すると思う。
生徒指導	③④	制約がなくなった後の、地域と連携して行う行事、活動に積極的に取り組んでいく。	○制限のある中、学校単独で行っていた行事、活動を地域と共同して取り組む。 ○これまでのやり方を参考にしつつ新たなやり方を模索していく。	○なかよし大運動会の開催に他の参加校と連携して取り組んだか。 ○まつりの開催に他校、関係各所の参加を呼び掛け、協力のもとに実施できたか。	全員	21%	76%	3%			・行事についているいと対応してもらいよかったです。 ・過去数年間は開催ができなかったり、制限のなかった内容であったり、過去の内容を知らない教員が多かったり、データもいない中で準備や実施は大変だったと思うが、現在の学校や児童生徒の実態でできることに取り組んでいたと思う。 ・4年ぶりに運動会が開催できた。フレンズとの協力の仕方など関係者の入れ替わりもあって十分ではないところもあったが、改善し次の第50回を目指したい。	B	なかよし大運動会について、今年度やってみて課題も見えてきたので、50回大会に生かしていく。12月に臨時の実行委員会を開き、計画案や連携のあり方についても現実行委員で協議できたので、引継ぎを確実にし、動き出しを早めたいと考えている。 ・4年ぶりに運動会が開催できた。フレンズとの協力の仕方など関係者の入れ替わりもあって十分ではないところもあったが、改善し次の第50回を目指したい。	B	・コロナの規制が5類に移行したばかりで、動きにくい時期だったと思いますが、積極的な活動は評価できます。引き続き、前のめりの活動を望みます。 ・養護学校まつりなど、積極的に情報発信をされていたので、来場者も多かったと思います。 ・地域活動も積極的に実施され、拓けた学校としての印象が強いです。
進路指導	③	事業所や企業に学校の広報活動を行う。	○事業所や企業に学校の広報活動ができるように、各関係機関と協力して学校見学会や企業説明会を開催する。	○学校見学会について島前地区の事業所や企業にも告知し、他機関と連携して開催することができたか。 ○関係機関と協力して障がい者を対象とした企業説明会を開催することができたか。	全員	32%	68%				・島前地区の企業、及び事業所、関係機関と連携を図り、障がい者雇用への理解啓発を図るようにする。 ・企業見学、福祉見学会計画・実施し、中学部、高等部、保護者に対して一般事業所に関する情報提供ができるよう工夫する。	B	・島前地区の事業所の皆さんにも隠岐養護学校のことをもっと知ってもらいたいですね。 ・事業所への広報、関係作りはよくやっておられるように思います。情報提供は、LINEでプッシュ配信をしてみてもどうでしょうか。 ・漁師への就職はハードルが高いと思われるが、丘仕事で特に単純な網作業など、いろんな仕事の内容を検証すべきだと思います。	B	・島前地区の事業所の皆さんにも隠岐養護学校のことをもっと知ってもらいたいですね。 ・事業所への広報、関係作りはよくやっておられるように思います。情報提供は、LINEでプッシュ配信をしてみてもどうでしょうか。 ・漁師への就職はハードルが高いと思われるが、丘仕事で特に単純な網作業など、いろんな仕事の内容を検証すべきだと思います。
事務部	基礎 ③④	施設・設備の適切な安全管理	○報告のあった破損・危険箇所の対応方針は1週間以内に決定する。	○報告のあった破損・危険箇所の対応方針は1週間以内に決定したか。	全員	45%	52%	3%			・報告のあった破損・危険箇所の対応方針は、1週間以内に決定できたと考えている。 ・令達予算の範囲内ではあるが、児童生徒にとって最大限の益となるように工夫して予算を活用したい。	B	・報告のあった破損・危険箇所の対応方針は、1週間以内に決定できたと考えている。 ・令達予算の範囲内ではあるが、児童生徒にとって最大限の益となるように工夫して予算を活用したい。	B	・昨年の報告以降、不具合後の対処をすぐに行うように意識づけはあったと思います。継続して申し送りをお願いしたいです。

令和5年度 隠岐養護学校 児童生徒用アンケート 集計結果

NO	分類	質問項目	回答				
			その通り	どちらか は正しい と思う	どちら も正しい と思わない	どちらか も正しい と思わない	どちら も正しい と思わない
1	学校行事・授業	内容は、授業中からやり直す機会を設けてくれる授業か。	70%	10%	20%	0%	0%
2		内容が、良かった、もっとやりたいと思った授業はありましたか。	30%	50%	10%	0%	10%
3		授業や学校行事は充実していましたか。	60%	10%	10%	20%	0%
4		授業や学校行事にすずんで参加したと思えますか。	30%	50%	0%	10%	10%
5		学校(教室)に安心して過ごせますか。	50%	30%	10%	10%	0%
6	学校生活	先生は、学校のきまりや社会のルールをきちんと指導してくれていますか。	70%	10%	10%	0%	10%
7		あなたは、学校のきまりなどをしっかり守ったと思いますか。	50%	20%	20%	10%	0%
8		あなたは、すずんで挨拶をしたり、言葉づからに気をつけたりすることができましたか。	50%	40%	0%	10%	0%
9		あなたは、学校のクラスの友達や先輩、後輩にいいお礼をしたことがありますか。	0%	0%	0%	90%	10%
10		あなたは、学校の友達や先輩、後輩にいいお礼をしたことがありますか。	0%	0%	0%	80%	20%
11		あなたは、学校のクラスの友達や先輩、後輩にいいお礼をしているのを見たことがありますか。	10%	0%	0%	70%	20%
12		あなたは、友達や友人関係などで、困った時、強心で話をしっかりと聞いてくれますか。	60%	30%	0%	10%	0%
13		あなたは、いつも気軽に声をかけてくれると思いますか。	60%	20%	10%	10%	0%
14		学校の勉強や生活は、自分の将来に役立つものと思いますか。	50%	30%	10%	0%	10%
15		学校の勉強や生活を通して、学ばずにはいられないと思いますか。	60%	20%	10%	0%	10%
16	専修	校空、作業室、体育館、校庭、トイレ、ブレイルームなどは使いやすかったですか。	50%	30%	20%	0%	0%

意見があれば、自由に書いてください。
・iPadをもって授業をしたり、オンラインでできることを取り入れてほしい。
・服装もオンラインでやしてほしい。

令和5年度 島根県立隠岐養護学校 学校評価アンケート【保護者アンケート全体集計】

質問項目	該当する欄に○をご記入ください。					ご意見・要望等
	1	2	3	4	5	
小・児童生徒が学校生活や学業活動に意欲的に取り組んでいるか。	60%	30%	0%	0%	10%	
小・児童生徒が安心して通学しているか。	40%	50%	10%	0%	0%	
小・児童生徒が学校生活や学業活動に意欲的に取り組んでいるか。	45%	44%	0%	11%	0%	
小・児童生徒が安心して通学しているか。	45%	55%	0%	0%	0%	
小・児童生徒が学校生活や学業活動に意欲的に取り組んでいるか。	43%	47%	0%	5%	5%	
小・児童生徒が安心して通学しているか。	57%	31%	5%	0%	5%	
小・児童生徒が学校生活や学業活動に意欲的に取り組んでいるか。	48%	47%	0%	0%	5%	
小・児童生徒が安心して通学しているか。	48%	47%	0%	0%	5%	
小・児童生徒が学校生活や学業活動に意欲的に取り組んでいるか。	53%	37%	5%	0%	5%	
小・児童生徒が安心して通学しているか。	59%	26%	0%	0%	15%	
小・児童生徒が学校生活や学業活動に意欲的に取り組んでいるか。	43%	47%	0%	5%	5%	

※ご意見・要望等欄に記入してください。
・ご記入いただいたご意見・要望は、学校で検討させていただきます。
・ご記入いただいたご意見・要望は、学校で検討させていただきます。